



『東京 2020 : 10 万人プロジェクト
～東京で 10 万人食べていける明日を～』

2019 年 7 月 2 日
セカンドハーベスト・ジャパン

チャールズ CEO, EXPO LIVE で「Marugohan」をプレゼン

アラブ首長国連邦は 2020 年 10 月からドバイで開催する EXPO 2020 DUBAI にあわせて、Expo Live という、革新とパートナーシップのプログラムを始めます。これは私たちの地球を保全しながら、そこに住むすべての人々の生活をよりよくしていくための創造的な解決策に、アラブ首長国連邦が総額 1 億ドルの資金を提供し、その実現を促進し、加速させるものです。世界で 4,600 以上の団体が応募し、73 団体が招待されました。日本からはセカンドハーベスト・ジャパン (2hj) のほかは 1 団体のみでした。

セカンドハーベスト CEO のチャールズ・マクジルトンは、2018 年秋に世界銀行代表より Expo Live への参加を勧められ、2hj の「Marugohan」計画の基本理念、実施計画、期待される結果をまとめて応募して招待され、5 月にドバイでプレゼンテーションを行いました。



「Marugohan」計画とは、

2hj が 2015 年に開始した「東京 2020 : 10 万人に食べ物を」プロジェクトの新たな計画です。食料を受け取る人は、会員カードを持ち、スーパーで買い物をするように食料を受け取ることができます。レジで QR コードを読み取り、受取を管理します。食料をもらった人は、その分何らかの事前に約束した社会貢献をし、全体として社会が循環することを目指します。2hj は東日本大震災や熊本地震などで支援活動をしてきた経験から、日本には他人に迷惑をかけたくない、遠慮するという文化が根強く残っていることを実感しました。「Marugohan」はそうした人々が心置きなく支援を受けられるための挑戦であり、フード・セーフティネットの新しいステージなのです。今年 10 月から、今までのパントリーを改装した Marugohan1 号がオープンいたします。

<本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先>
セカンドハーベスト・ジャパン 広報担当：増田 (03-5822-5375、masuda@2hj.org)